

○ ジョギングコース整備事業

体脂肪の燃焼、ストレス発散、生活習慣病の予防などの健康づくりの場となるジョギングコースを整備します。ジョギングコースは800m/周として、区間標識を設置します。

○ 市制施行記念「藤のトンネル」整備事業

市制施行75周年を記念して「フジ」の植樹を行った後、育成後は「藤のトンネル」となる棚を整備します。藤の育成後は、ほのかに香る美しい幻想的な空間が実現し、藤の名所となる天王川公園の魅力をさらに引き上げるものとなります。

● 子ども用防火服等整備事業

各種行事等に、子ども用防火服10着及び子ども用防火ヘルメット10個を子どもたちが着用できるように用意し、「消防団ってかっこいい」と感じてもらい未来の消防団員を目指すきっかけとなる懸け橋にしていきます。

【活用概要】

- ・出初式での体験コーナーの設置
- ・施設見学等での来署時に防火服を着用しての記念撮影
- ・幼稚園児の消防教室で防火服を着用しての放水体験
- ・市内各所の自主防災訓練時での体験コーナーの設置
- ・商業施設等の集客施設での消防団入団PR時に体験コーナーの設置
- ・要望があれば町内会等の催し等への貸し出しを実施等



※子ども用防火服等整備事業は、国が地域の消防団の加入促進を図る「消防団の力向上モデル事業補助金」を活用して行います。

● 高齢者インフルエンザ予防接種事業

実施期間は令和4年10月15日～令和5年1月31日

1シーズン1回まで

津島市に住民登録があり、次の条件のいずれかにあてはまり、接種を希望する方は自己負担金は無料

- ・接種日において満65歳以上の方
- ・接種日において満60歳から満64歳の方で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害（いずれも身体障害者手帳1級相当の障害）を有する方

無料



津島おでかけタクシー事業、天王川公園の公園整備事業や子ども用防火服等整備事業などの主要施策がしっかりと市民の皆様の意見が反映できるよう市政に反映していきたいと思っております。特に津島おでかけタクシー事業は来年から実証実験が開始されるのでより良い政策になるよう注視していきます。

津島市議会議員

ながや

長屋
やまと



ごあいさつ

こんにちは。津島市議会議員の長屋大和です。日頃から、市民の皆様には多数のご意見やご要望をお寄せ頂きありがとうございます。

今回の議会では子どもの目の健康について一般質問を行いました。この30年ほどでパソコン・ゲーム機が普及し、さらには各世帯でのスマートフォンの保有率は80%を超える数字に達するなど、スマートフォンホやタブレットも急速に暮らしに浸透しました。

現在のデジタル時代、私たちの大切な器官の一つである目への負担は、増大しています。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一時的に小・中学校の臨時休業の措置で子供たちが登校できない期間がありました。そして現在でも、その影響による学級閉鎖等が続いています。民間製薬会社がコロナ禍で子供について気になるところを調査したところ、保護者の約3人に1人が子供の視力の低下を気にしていると調査で発表されていました。

津島市内全ての小中学校に、日本初の導入規模で、AI機能を持った人型ロボットと、高性能なセンサーを使ったブロックを導入しました。子供たちがデジタル機材を使った教育を受ける機会や時間が長くなります。視力は筋力などとは違い一度低下するとなかなか、戻ることがないので津島市の子どもたちの視力に対してどのような取り組みが行われているか一般質問を行いました。

長屋やまとの活動にお力添えをいただける方を募集しています。一緒に活動をしていただける方は後援会事務所までお問い合わせよろしくお願い致します。

略歴

1993年7月生まれ
名城大学卒業
総合アパレルメーカー勤務
前衆議院議員 岡本みつりの秘書



質問者：長屋大和 議員

● 子どもの目の健康について

【質問】 小・中学校で行う視力検診での裸眼視力1.0未満の子どもたちの視力について、2019年度から2021年度の全国、愛知県、津島市の推移は。

【答弁】 裸眼視力1.0未満の小学校児童の割合は、全国平均では2019年度35%であったものが、2021年度37%で上昇している。中学校生徒も2019年度54%から2021年度60%で上昇している。

2021年度では愛知県の小学校児童の38%、中学校生徒の64%が、裸眼視力1.0未満となっており、津島市は小学校児童の43%、中学校生徒の65%が、裸眼視力1.0未満となっている

【質問】 子どもの目の健康に関し、津島市の学校で行っている指導は。

【答弁】 小・中学校では、毎月、学校保健目標を定め児童生徒の健康について啓発活動を行っている。10月の学校保健目標では、10月10日の目の愛護デーに関連して、「目を大切にしよう」を設定し、養護教諭から目の健康、姿勢に関する指導を行っている。

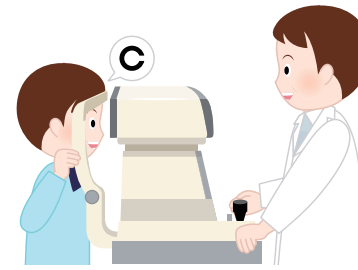
各学校では、教職員や保護者向けにも啓発活動に積極的に取り組み、学校医や専門的な立場の方を学校保健委員会にお招きして、目の健康に関する講演を実施している。



【質問】 授業の終わりには目の体操をしたりするなどの具体的な対策を行って行くべきと考えるがどうか。

【答弁】 学校の休憩時間には、運動場に出て仲間と遊んだり、校外学習等の折には自然のよさを体感させたりすることなど、心身の健康の促進は重要であり、各学校において、児童生徒の心身の健康保持を目的とした活動を推進していきたいと考えている。

【質問】 3歳児健康診査について、日本小児眼科学会では、視力検査に加えて、フォトスクリーナー等を用いた屈折検査の実施を推奨している。カメラで撮影するように、子どもの目元を写し出し、屈折異常や斜視などの両目の状態を発見するスクリーニングの効果も高く、母親の膝に乗ったままでも検査



ができ、受診者の負担が少ない。そして、専門職でない方でも検査を実施することが可能である。屈折異常などは、早期発見・早期治療すると効果が大変大きいと言われているが、フォトスクリーナーの見解と、津島市に導入する考えはあるか。

【答弁】 フォトスクリーナーは弱視や屈折異常の検出率が向上するため、視力検査が困難な幼児の発見に効果がある。導入については、他の自治体の状況も参考にしながら調査・研究していく。

◆ 補正予算の主要施策

● 津島おでかけタクシー事業

対 象 者：高齢者75歳以上、障がい者(身体障害者手帳1～3級、療育手帳A・B判定、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者) 妊産婦(妊婦及び出産後1年未満の産婦)

利 用 範 囲：市内全域及び JR永和駅、JR蟹江駅
(出発地か目的地のどちらかに自宅を含むこと)

利 用 時 間：午前8時30分～午後7時(土・日・祝日も利用可)

利用者負担：「タクシー運賃+お迎え料金」の半額

事 業 者：市内及び近隣にあり、市との契約を締結したタクシー事業者

利用方法等：事前に利用登録証発行の手続きが必要で利用の際は事前予約を基本としている。駅の待機タクシーなど予約なしの利用も可能。乗車中の一時的な立ち寄りも可能(1回程度、1回10分目安)。

付き添い者の同乗も可能。利用回数の上限なし。

実 施 期 間：令和5年1月から実証実験として運行開始予定



● 天王川公園の公園整備事業

宇佐美鉾油を含むグループ企業からいただいたご寄附を活用し、ゆったり過ごせ、日常の健康づくりが楽しめる公園に向けて天王川公園の施設の充実を図ります。



○ 野外ステージ改修事業

公園の景観との調和によって生み出される魅力的な野外ステージの整備に向けて、ステージ屋根の設置や既存ステージの改修を行います。多彩なステージイベントの会場として使用するほか、Park-PFI事業にて整備する芝生広場と合わせ、ゆったりとくつろげる空間が実現します。